



横浜訓盲学院 だより

第25号 (2012年7月号)

2012年7月5日発行

〒231-0847 横浜市中区竹之丸181番地 URL: <http://kunmou.jp/>

事務部

TEL045-641-2626 FAX045-641-2627
E-mail: jimu@kunmou.jp

普通部

TEL.FAX045-662-1710
E-mail: futsuu@kunmou.jp

理療科

TEL.FAX045-662-1833
E-mail: riryuu@kunmou.jp



校舎からのメッセージ

学院長 中澤 恵江

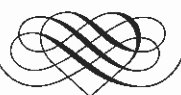
横浜訓盲学院にお越しいただくと、赤い屋根の2階建て校舎と、平屋の木造校舎からなる普通部校舎が目に入ります。公園と草花に囲まれていることもあり、学校らしくない、可愛らしい建物といわれることが多いです。これはとてもありがたい感想です。緊張しながらはじめて学院を訪れるご家族に、威圧感ではなく暖かなメッセージを送ることが、学院の願いだからです。そして、この校舎のさらに大切な特徴は、重複障がいのある子どもたちの安心と健康を育む場所となっているところです。

普通部は、大きく4つのグループに分かれています。幼小、小中、高等部普通科、高等部専攻科生活科です。各グループの教室に行くための玄関がそれぞれ別々に用意されています。そのため、入学してあまり時間を経ないうちに、子どもたちは自分の行くべき玄関と教室に、迷わずに安心して向かっていきます。また、複数ある玄関は緊急時にも円滑に建物から脱出できるようになっています。さらに、二階の教室もどこからでもベランダに出ることができ、非常階段と非常滑り台につながっています。

学院に見学にいらした方々に私がかならず紹介させていただくのは、トイレです。重複障がいのある子どもにとって、健康のため、そして快適で自立した暮らしのために、排泄の自立は大きな教育課題の一つです。そのためにも、教室のすぐ近くに快適なトイレがあり、じっくり排泄に取り組むことができる環境の用意が大切だと考えています。残念ながら、多くの学校のトイレは、教室から離れた各階の一隅にまとめられ、夏暑く、冬寒い場所となっているようです。学院では、各教室からすぐ行くことができるトイレをそれぞれ用意し、優先的に冷暖房完備にしました。子どもたちにとって、トイレに行くところが気持ちの良い経験にしたかったからです。

また、一日の授業が終わると、学院の教員たちはトイレをととても丁寧に清掃します。庭の草花を洗面台に飾り、子どもたちが翌日も清潔で気持ちの良いトイレに行けるように備えています。

これからも私たちは、校舎という環境からも、学院の教育方針のメッセージを送り続けていきたいと思えます。



「喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい。」

ローマの信徒への手紙12章16節

(隣人の喜びと悲しみを共にすることができる人になりましょう。)



《7月の聖句》

24年度 入学式

4月9日(月)、春の香りが満ちあふれ、抜けるような青空の下で入学式が執り行われました。今年は梅の開花が1ヶ月以上遅れ、寒さに凍えながら春の到来を待ち望みましたが、この入学式に合わせるかのように桜も満開になり、新入生を歓迎してくれました。

今年度は19名の入学生、転入生が横浜訓盲学院の新しい仲間として加わり、普通部では38名、理療科では14名の合計52名の在校生となりました。

式では名前を呼ばれた新入生は、中澤学院長より一人ひとりに温かい歓迎の言葉をかけられました。学校生活に大きな期待と希望を持ってスタートできたのではないのでしょうか。

そして、式の後には向かいにある柏葉公園で、満開の桜に囲まれ、保護者や担任の先生達と一緒に、みんな最高の笑顔で記念写真に収まりました。



運動会

5月26日(土)、晴れやかな天候の下、平成24年度の運動会が行われました。

可愛らしく踊った幼少グループの演技、音楽に合わせてパラシュートや棒でのダンスを披露した小中グループ、息の合った動きをみせた高等部普通科の組体操、独自の体操を行った生活科と、今年度もそれぞれのグループが練習の成果を十二分に発揮することができ、会場を盛り上げました。また、鉄線走では、理療科の生徒達が白熱した競争をみせてくれました。

応援に来て頂いた保護者の皆様や関係者の皆様、たくさんの暖かいご声援をありがとうございました。



幼小グループ 春の遠足

5月8日(火)、心地よい陽射しの中、幼小グループでは春の遠足が行われました。行き先は本郷台駅の近くにある「あ〜すぶらざ」。

スクールバスと電車を乗り継いで、振動や音を体感しながら向かい、子ども達の気分はもう「ウキウキ♪」楽しそうにしている様子がたくさん見られました。館内にあるこども国際理解展示室では、普段なかなか触ることの出来ない海外の楽器に触れることができました。中でも「スティールパン」というドラム缶で作られた、めずらしい打楽器にみんな興味をもって手で触って確かめたりしていました。そして最終的にはスタッフの方と「チューリップ」の曲にあわせて音階を叩き、とっても楽しんでいました。またこどもファンタジー展示室では、滑り台で何回も遊んだり、ぶよぶよトランポリンで立って跳ねたり、横に寝てみたりと、みんな自由に飛び跳ねてたくさん遊ぶことができました。

初めて触る楽器や遊具で遊ぶ体験ができ、春の遠足はとても楽しい一日となりました。



関節の痛み

じめじめとした、いや〜な梅雨の季節がやってきました。皆さまいかがお過ごしでしょうか。梅雨の季節になると肩が痛い、腰が痛い、膝が痛いなどの症状がでることはありませんか？ そうなのです、湿気が多いと関節痛を引き起こしやすくなるのです。

東洋医学では悪さをする湿気のことを「湿邪」といって、これが体内に侵入することで関節部などにまとわりつき、さまざまな関節症状を引き起こすと考えられています。そこで今回は家庭でもできる簡単な湿邪対策をご紹介します。

まずはお部屋の湿気を取り除くこと。これは除湿器でもエアコンでも構いません。ただし、温度の下げすぎには注意して下さい。

次にできることは食事。肉類、野菜類などの生もの、甘いものや脂っこい食べ物が好きな方はたくさんいますよね？なんと、これらの取り過ぎが脾胃(ひい:消化器系)を傷つけ湿邪を受けやすくしてしまうのです。そのため、これらの食べ過ぎに注意すること!

以上が対策なのですが、後の方を実行するのは難しそうですね……関節の痛みを我慢するか、食べたいものを我慢するのか、どちらが良いかはあなた次第!

高等部生活科 春の遠足

5月10日(木)、高等部生活科は、春の遠足で八景島シーパラダイスへ行ってきました。当日の天気予報によると、あいにくの雷雨。そこで、予定を少し変更し、晴れ間の見える午前中のみ時間を短縮しての実施となりました。

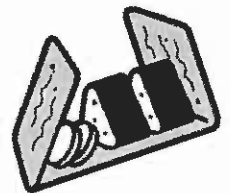
みんなでスクールバスに乗り、和気あいあいと車内でレクリエーションを楽しんでいるうちに海が近づきはじめ、あっという間に八景島シーパラダイスに着きました。バスを降りると、雷雨という予報が信じられないくらいの良い天気!!これは、きっとみんなの日頃の行いがとてもよいからだったのでしょうか。

シーパラダイスでは乗り物に乗ったり、散歩をしたり、海で潮風を感じたり...それぞれが思い思いの楽しい時

間を過ごしました。そして、最後にシーパラ・シータくんと一緒に記念写真を撮り、シーパラダイスを後にしました。

時間を短縮したため、シーパラダイスでの楽しい時間はあっという間でしたが、学校に帰った後もまだ天気がよかったので、校舎の隣にある柏葉公園で芝生の上にシートをひいて、お弁当をおいしく食べました。

短い時間ではありましたが、みんなで充実した時間を過ごすことができました。保護者の皆様、お弁当や準備等ご協力いただきましてありがとうございました。



●24年の主な行事予定●

7月		
18日(水)	理療科解剖見学	
23日(月)～8月24日(金)	夏休み	
8月		
7日(火)	星の子の集い	
27日(月)	授業開始	
9月		
20日(木)	生活科デイキャンプ	
26日(水)	創立記念日(創立123周年)	
10月		
3日(水)	前期終業式	
4日(木)～5日(金)	秋休み	
9日(火)	後期始業式	
19日(金)	普通部 全体遠足	
20日(土)	学校開放(ハンドベル演奏会)	
26日(金)～27日(土)	生活科研修旅行	
11月		
上旬	理療科遠足	
2日(金)	保護者参観日	
17日(土)	PTAバザー	
28日(水)	普通部 マラソン大会	
12月		
8日(土)	普通部 第1次入学検定	
15日(土)	神奈川県盲学校サウンド・テーブルテニス大会	
21日(金)	理療科生徒会クリスマス祝会	
22日(土)	クリスマス祝会	
26日(水)～1月8日(火)	冬休み	

視覚障害



中枢性視覚障害

中枢性視覚障害ということばをご存知ですか?これまで「視覚障害教育」は、眼球に問題がある場合に生じる弱視あるいは盲についての理解を深め、支援方法を開発してきました。しかし、ここ20～30年来、脳の損傷によって生じる中枢性視覚障害が目立つようになってきました。

欧米諸国では、現在、幼児の視覚障害の原因として最も多いとされているのが中枢性視覚障害です。出生時の酸素不足、幼児期の脳炎や水頭症等の病気、頭部の怪我等々により、脳が損傷を受けることによって生じます。脳における情報処理が障害を受けるため、また脳のどの部分に損傷があるかによって、見えにくさの現れ方には眼球性視覚障害とは違いがあります。

中枢性視覚障害によって全盲になる場合は比較的少なく、重度の場合も、光や鮮やかな色には反応することも知られています。脳の様々な場所で色は処理されるため、色の認知は残りやすいようです。その他の特徴としては、背景にたくさんの物があると、見てほしい物が見分けにくいこと、見ることに多くのエネルギーを要するため疲れやすいこと、まぶしさがある場合が多いことなどがあげられています。中枢性視覚障害の理解と支援は、学院でもその専門性を向上していきたいと思えます。

臨床実習のご案内

当学院では授業の一環として、あんま・マッサージ・指圧および、はり灸の臨床(治療)を行っています。是非ご利用下さい。



★あんま・マッサージ・指圧・はり灸…水・木・金曜日

料金 一律 1000円

時間 前半 9:50～
(各50分ずつ) 後半 10:50～

◆ご予約はお電話で!
当日の朝 8:45～9:10

電話 090-9009-5882

◆お問い合わせは理療科まで

電話 045-662-1833

2011年度(平成23年度) 賛助金・寄附金並びにご招待の御礼

平素より、本学院の視覚障がい教育にご理解ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

平成23年度(平成23年4月1日～平成24年3月31日)における皆様からの賛助金・寄附金並びに各種ご招待は、下記の通りとなりましたので、ご芳名を掲げ感謝申し上げますとともに御礼申し上げます。

〔賛助金〕ご芳名

(個人)

(50音順、敬称略)

秋山修一(秋山眼科医院)、楢木勇、荒井勝彦、石井和子、石出道雄、一丸太孝、伊藤顕司、今村創太、今村嗣、今村朋子、今村美保、權並とし子、江藤潔、江守央至、大崎寛、北村光之、久保寺淳夫、古賀裕子、國分由紀子、小林誠治、小島洋、斎藤幹一、齋藤忠行、斎藤龍二、柴田寛昌、柴田昌一、柴山静穂、清水臣、白水泉、新藤啓二、新藤有美子、鈴木晴子、清野和男、清野訓靖、相馬千鶴子、曾我晴信、高橋晃樹、田中房子、土屋博、歳藤梅吉、殿岡時仲、富田香(平和眼科)、中澤恵江、ハービン恵子、ハービンデリアス、長谷川光正、堀将一、早川勝男、早水利行、樋村進、福島夕子、藤森和子、古旗誠、細田道子、前島一仁、正岡幸伸、松本明美、南正男、武藤禎子、孟学琳、森田厚、森谷すみ、森脇亜由美、矢島保道、安寛、矢野榮子、矢野豊、山岡守、山岡佳織、山田典子、山中猛、山中大治、山中正子、山中幸也、山本恵美、山本京子、楊和長、吉見章歩、依田康子

(教会関係)

キリスト教保育連盟神奈川支部、基督兄弟団横浜教会、チャーチ・オブ・ゴッド川崎キリスト教会、日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団篠原教会、日本ルーテル教団戸塚ルーテル教会、日本基督教団伊勢原教会、日本基督教団大塚平安教会、日本基督教団鎌倉教会、日本基督教団久里浜教会教会学校、日本基督教団三・一教会、日本基督教団清水ヶ丘教会、日本基督教団新丸子教会、日本基督教団藤沢教会、日本基督教団時田教会、日本基督教団翠ヶ丘教会、日本基督教団横浜磯子教会、日本基督教団横浜上原教会 婦人の会、日本基督教団横浜大岡教会、日本キリスト教会横浜海岸教会、日本基督教団横浜指路教会、日本基督教団横浜二ツ橋教会、日本基督教団六角橋教会、日本バプテスト同盟金沢文庫教会、日本バプテスト連盟横浜戸塚バプテスト教会、日本盲人キリスト教伝道協議会 金澤真実

(学校関係)

青山学院初等部、厚木幼稚園、上星川幼稚園、川崎境町教会附属福音幼稚園、関東学院野区幼稚園、菊名愛児園、鶴沼めぐみルーテル幼稚園、相模翠ヶ丘幼稚園、桜ヶ丘幼稚園、早苗幼稚園、田園江田幼稚園、野毛山幼稚園、ドレーパー記念幼稚園、学校法人宮の台幼稚園、横浜愛隣幼稚園、横浜三育幼稚園、捜真小学校、捜真小学校PTA、関東学院六浦小学校、横浜雙葉小学校、横浜雙葉中学校・高等学校、関東学院六浦中学校高等学校、捜真女学校中学部高等学部、横浜英和学院、横浜女学院中学高等学校、フェリス女学院中学校・高等学校バザ部門、徳島県立盲学校 林繁弘、呉竹誠灸柔整専門学校

(その他団体)

アंकベル・ジャパン(株)、安藤建設(株)横浜支店、(有)今村塗装工業、(株)大山組建材、(株)オーチャー、柏葉町内会、(株)加藤機器製作所、神奈川県眼科医会、コウズイクリップカフェ、(株)協同ビルテック、(株)神奈川クッキングサービス、鷺山竹之丸町内会、(株)清光社、(株)泰山園、(株)ダスキン横浜、テクタイト(株)、中区第三地区社会福祉協議会、日興テクノス(株)、(有)フクオカコーポレーション、(株)フォーディング・パス、(株)ヒューマン・アイ、(有)増山住設、三浦藤沢信用金庫山元町支店、宮崎ピアノ工房、(有)ヤマキ文具店、(株)吉田電気、横浜関内ライオンズクラブ、横浜訓盲学院同窓会四つ葉会、(株)ランヒル

〔特別寄附金〕

財みずほ教育福祉財団

〈賛助金〉 4,723,431円
 〈特別寄附金〉 600,000円
 〈合計〉 5,323,431円

〔現物寄附〕

平成22年度医療科卒業生(ハンドタオルホルダー9台)、板倉尚子(足骨模型)、日興テクノス(株)(プリンター1台)

〔その他寄贈品〕

(財)日本テレビ系列愛の小鳩事業団、特定非営利活動法人あかり、社会福祉法人桜雲会、(株)オーチャー、川野太郎、北島ライオンズクラブ、北村昭、京都大学大学院理学研究科、協和発酵キリン(株)、一般社団法人国際スポーツ振興協会、子供に伝えるクラシックDVD製作委員会、(株)ジャパンビバレッジセントラル、新読書社(株)、公益財団法人すこやか食生活協会、セブン・イレブン横浜山手駅前店、社会福祉法人全国心身障害児福祉財団、ダイアログ・イン・ザ・ダーク、(株)泰山園、田口謙吉、田中房子、TBSラジオ編成局、東京ガス(株)、歳藤梅吉、富田香(平和眼科)、豊村悦男、ねむの木学園、橋本廣子(日吉慶友クリニック)、公益財団法人早川清文学振興財団、NPO法人藤枝光文庫、毎日新聞、前谷典輝、山本勉、NPO法人ユニバーサルデザイン絵本センター、横浜訓盲学院同窓会四つ葉会、リソー封筒(株)

〔ご招待〕

キリンシート事務局

私どもの視覚障がい教育にご理解いただき、ご支援下さる団体・個人の方々の賛助会員を募らせていただいております。よろしくお願い申し上げます。

【年会費】 法人(1口)10,000円/個人(1口)1,000円(口数は問いません)
 【お支払い方法】 ・郵便振替[加入者名]学校法人横浜訓盲学院(口座番号00200-5-40861)
 ・現金
 【その他】 会費以外に寄附金も有難くお受けいたします。
 【お問合せ先】 横浜訓盲学院 事務局 TEL.045-641-2626

ご協力のお願い
 (平成24年度 賛助会員)